

# 平成30年度 社会福祉法人 百八会 事業報告

## 1 はじめに

社会福祉法人百八会は、地域から頼られ選ばれる魅力ある施設となるため、平成30年度も基本理念に基づいた様々な活動を行ってまいりました。魅力ある施設には魅力ある人材の確保が不可欠であることから、職員一人ひとりがいきいきと働き、仕事を通じて成長できる職場環境づくりを目指すため各種研修やメンタルヘルス不調を未然に防ぐためのストレスチェック、さらに人事考課を行いました。また管理職から働き方に対する意識を変え、働き方改革を効果的に進めるため、熊本県働き方改革推進支援センター(厚労省)より講師を派遣していただきワークショップを3回受講しました。

本年度も引き続き法人全体で働き方改革に取り組み、適正かつ効果的な人事考課を行い、魅力ある人材を育成することにより介護サービスの質の向上を図り、地域の皆さまのご期待に添うべく法人の発展並びに社会福祉事業の推進に一層努力を重ねてまいります。

## 2 概要

### (1) 組織

理事：9名      評議員：10名      監事：2名  
評議員選任解任委員：3名

### (2) 理事会開催状況

第1回 平成30年6月7日開催  
議案 平成30年度 補正予算(案)について  
平成29年度 事業報告について  
平成29年度 決算報告について  
平成30年度 賞与に伴う借入金について  
欠員補充に伴う理事の選任(案)について  
定款変更に伴う理事の選任(案)について  
定款変更に伴う評議員の選任(案)について

第2回 平成30年8月27日提案(書面決裁)  
議案 平成30年度 補正予算(案)について

第3回 平成30年11月26日提案(書面決裁)  
議案 既存建築物省エネ化事業に伴う借入金について(案)

第4回 平成31年3月29日開催  
議案 平成30年度 補正予算(案)について  
平成31年度 事業計画(案)について  
平成31年度 予算(案)について  
理事長専決規程の一部改正について  
清掃委託業者の選定について  
旅費規程の一部改正について  
就業規則の一部改正について  
施設長の再任用(案)について  
理事長の職務執行状況報告

(3) 評議員会開催状況

第1回 平成30年6月25日開催  
議案 平成29年度 事業報告について  
平成29年度 決算報告について  
欠員補充に伴う理事の選任(案)について  
定款変更に伴う理事の選任(案)について

第2回 平成31年2月5日提案(書面決裁)  
議案 社会福祉法人百八会役員報酬規程(案)について

(4) 評議員選任解任委員会開催状況

第1回 平成30年6月12日開催  
議案 評議員候補の選任(案)について

3 事業所

- ・ 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹
- ・ シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 通所介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 居宅介護支援事業所

#### 4 地域福祉の推進

- ・地域のサロン、健康教室、老人会の集会へ職員が出向き、健康チェックやレクリエーション、講話等で協力しました。



- ・地域行事への参加

7月末に開催された桜木東校区の夏祭りには司会者や救護担当などで職員を派遣。

10月には敬老の集い、12月には餅つき大会にも参加し、地域の皆さまと交流を図りました。



- ・各種ボランティア受入れ

30年度のボランティア登録者数は94名。

日舞、民謡、唱歌、折り紙、ちぎり絵、ちよんかけ独楽、いけばな、尺八等々、多くのボランティアさんが活動されました。

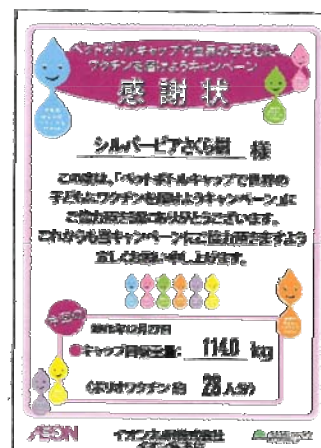
また、東稜高校 JRC(JuniorRedCross/青少年赤十字)部の学生も月に数回、活動を行ないました。30年度も研修会・交流会を実施し、今後も充実した活動を行っていただけるような支援をしました。



- ・エコキャップ収集活動

2008年からイオン九州株式会社の「ペットボトルで世界の子どものワクチンを届けようキャンペーン」に協力しています。

職員や地域住民の皆さまの協力でペットボトルのキャップを収集し、30年度は合計211.1kg（ポリオワクチン約51.8人分）をイオンに届けることができました。



- ・ 地域交流スペースの無料開放

会議室、ボランティアルーム、地域交流スペースを地域の皆さまに開放し、ゲートキーパースキルアップ等の研修会や東区保護司会の会議、珈琲教室、ダンス練習等に活用していただきました。



- ・ さくら樹フェスタ開催

近隣に住む人たち同士やさくら樹が自然につながりを持つことにより、住民の多種多様化する福祉ニーズを把握し、地域貢献へ繋げることを目的とし、29年度に実施したマルシェの進化系イベントとして10月28日(日)に開催しました。

ハロウィンの時期であったため、会場をハロウィン風に飾りつけ、仮装で来場した子供にお菓子プレゼントを企画。多くの若い家族にも参加していただきました。また各部署でブース(店)を担当しましたが、ヘルパー考案の簡単茶わん蒸しの試食は「売ってほしい」と大変好評でした。事前に職員一丸となって広報活動した成果もあり、約400名の来場者がありました。



- ・ 日本財団へ寄付

2017年より社会貢献型自動販売機「夢の貯金箱(日本財団)」を設置し、飲料1本につき10円を寄付しています。

30年度は45,560円が寄付できました。

5つの支援事業(子供の貧困対策、難病児支援、児童養護施設等出身者への進学支援、災害復興支援、アスリートと共に行う支援)の中から職員の希望(アンケート)により、災害復興支援に役立てられます。



・「こどもひなんの家」に登録

地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため  
設けられた緊急避難所に登録しています。  
3月中旬、桜木東小学校の6年生から感謝  
の気持ちがこもった手作りコースターを  
届けていただきました。



・実習(研修)生の受入れ実績（合計 26 名）

受入部署 ・事業所	実習期間	(実日 数)	学校/所属等	人数
特養 ・ 短期入所	8月8日～9月14日	23日	熊本学園大学／社会福祉学部	1名
	5月14日～5月24日	8日	熊本看護専門学校／看護学科	3名
	6月4日～6月14日	8日	熊本看護専門学校／看護学科	3名
	7月2日～7月12日	8日	熊本看護専門学校／看護学科	3名
	7月30日～8月3日	5日	城北高等学校／医療福祉科	1名
	8月6日～8月10日	5日	九州ルーテル学院大学／人文学部	1名
	8月27日～8月31日	5日	熊本学園大学／外国語学部	1名
通所介護 事業所	8月8日～9月14日	23日	熊本学園大学	2名
	12月24日～3月1日	20日	大原学園	1名
	7月10日～7月12日	3日	桜木中学校	4名
	5月16日～5月29日	9日	熊本県立支援学校	1名
	9月20日～10月3日	1日	熊本県立支援学校	1名
	10月23日	1日	シルバーヘルパー	2名
栄養部	9月3日～9月7日	5日	尚綱大学短期大学部/食物栄養学科	1名
居宅	H31年3月28日～4月10日	3日	熊本県介護支援専門員協会	1名

5 広報

- (1) 「地域交流紙さくら樹」を年4回、各1,000部を発行しました。  
春号(4月発行)、夏号(7月発行)、秋号(10月発行)、新春号(1月発行)  
さくら樹の出来事やイベント等のお知らせ、入居者の家族、デイやヘルパー利用者だけでなく、市内の特養や地域住民等に広く配布し、施設のPRに活用しました。表紙に利用者や職員の写真を掲載したことで、

ご意見やご感想がより多く寄せられるようになりました。「顔の見えるさくら樹の表紙に感動です」「多岐にわたり活動されている様子がよくわかる」等々、ハガキや電話でありがたいご意見を寄せていただくこともできました。ご意見は職員全体で共有し、紙面作成やその他の活動の参考にさせていただきました。

(2) 法人運営の透明性確保のためインターネットを活用しました。法人のホームページに定款、決算報告、役員報酬、広報紙など法人の情報を公表いたしました。熊本市のホームページには現況報告書等の公表をしております。

(3) 施設全体で働き方改革に取り組んでいる様子が2月13日の県政広報テレビ『くまモンしあわせ彩熊記』に取上げられました。1月中旬、熊本県営業部長兼しあわせ部長のくまモンが訪れ、居宅介護支援事業所 村田所長のインタビューや、ワークバランス体操等の撮影が行われました。



## 6 施設内研修実績

実施月	研修内容（担当部署・委員会）
平成30年 4月	さくら樹の方針について(施設長)
5月	接遇マナーについて(CS委員会)
6月	食中毒について(感染委員会) 講師：熊本市食品衛生班
7月	個人情報について(安全対策委員会) 講師：居宅/鷹木公平
8月	事故防止(教育委員会) 講師：通所部/村山史彦
9月	緊急時対応について(労働安全衛生委員会) 講師：日赤病院
10月	感染症対策(感染対策委員会) 講師：健栄製薬株式会社
11月	メンタルヘルス(労働安全衛生委員会) 講師：医師/東野孝治
12月	パワハラについて(苦情接遇委員会)

平成31年 1月	※インフルエンザ対策で中止となる
2月	認知症について（教育委員会）講師：ささえりあ江津湖
3月	虐待防止について（入居部） 委員会活動報告（各委員会）

## 7 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
運営委員会	理事長、本部長、施設長、幹部職員	毎月第1木曜日	各事業所の現状・問題点など
教育委員会	施設長、各部署代表	毎月第1火曜日	施設内外の教育・研修について協議、企画実施
安全対策委員会	本部長、施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	ヒヤリハットの検証などについて
労働安全衛生委員会	施設長、各部署代表	毎月第3火曜日	職員の労働・安全・健康に関する事項
災害対策委員会	施設長、各部署代表	偶数月第3火曜日	防災計画、災害時マニュアルの整備
感染対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	感染症予防、発生時の感染拡大防止
福利厚生委員会	施設長、各部署代表	随時	職員の福利厚生について
CS委員会	施設長、各部署代表	毎月第1火曜日	サービス向上のための諸問題検討、解決
苦情対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	施設、職員への苦情・接遇・ご意見について
地域浸透プロジェクト委員会	各部署代表	毎月第2水曜日	行事・広報誌・ホームページ・展示・掲示物について

## 平成 30 年度 特別養護老人ホームシルバーピアさくら樹 事業報告

入居部において私たちは、社会福祉法人百八会の基本理念に基づいた個人の尊重を基本方針として、入居者様の生活支援と健康管理に努め、又、ケアの向上の為自己研鑽に努めました。

### 1 適切な生活支援

昨年同様 24 時間シートの充実を図るために定期的に勉強会を行い、入居者様へ個別ケアの提供が出来るように努めました。24 時間シートの充実を図ったことでケアプランの立案がスムーズに出来、定期的にご家族との担当者会議を行い、入居者様の日常生活を今まで以上に知っていただけるようになりました。又、ウォーキングカンファレンスは継続して行っており、介護士・看護師と入居者様の身体状況や生活状況の情報交換を行い、入居者様の個別ケアのサービス提供に努めました。

### 2 健康管理

1 年に 2 回健康診断を行っており、その結果は看護師よりご家族にお渡しし、その都度疑問点には説明を行うようにしました。週に 1 回は回診をしてもらい入居者様の安心に繋がっています。又、異常の早期発見に努め、身体状況を判断し速やかにより的確な病院受診ができました。

### 3 家族会の開催

施設の担当医である松ヶ迫医師より「入居者様の現状と高齢者の医療」の講話をしていただき、ご家族から松ヶ迫医師に多くの質問がありました。

その後、入居者様によるユニット対抗のゲームを行い、ご家族や職員の応援のもと楽しんでいただきました。

### 4 入居者状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

入居者数 50 人 （2 人入院中）

男女比 . . . 男性：9 人 女性 41 人（男性 18% 女性 82%）

平均介護度 . . . 4.25（男性：4.22 女性：4.26）

平均年齢 . . . 89.05 歳（男性：87.3 歳 女性：90.8 歳）

新入居者 22 人

老健 8 名 有料老人ホーム 5 名 病院 7 名 自宅 2 名

退居者 21 名

死亡（施設内 11 名 病院 7 名） 他施設 3 名（病院）



受診の延べ回数・・・144回

入院の延べ人数・・・35人

## 5 職員の状況

### (1) 委員会活動への参加

さくら樹全体の委員会活動も委員会委員長を積極的に行う姿勢がみられました。入居部独自の委員会において、リーダー会議をより充実するために多職種との連携会議を行いました。又、学生指導委員会を設け介護福祉士・看護師・社会福祉士等の実習生の受け入れ体制を整えました。

- ①抑制廃止・虐待防止委員会、②褥予防瘡委員会、③マニュアル委員会
- ④記録・ケアプラン委員会、⑤レクリエーション委員会
- ⑥栄養・口腔ケア委員会 ⑦学生指導委員会

### (2) 研究発表を積極的に行った

今年は介護職員を中心に「経口摂取維持に向けた取り組み」という題で、とうや病院グループの医療福祉研究発表会と県の老人福祉施設協議会で発表を行い、とうや病院グループの発表会では優秀賞を頂きました。

### (3) 研修参加

施設外研修延べ人数	・・・	73人
施設内研修参加者平均人数	・・・	31.0人(62%)
入居部勉強会参加者平均人数	・・・	32.3人(62.3%)

入居部勉強会においては日常業務の中で身近なテーマを見つけ、各ユニット、入居部委員会が担当して、月に2回同じテーマで30分の勉強会を施行し、自己研鑽に努めました。

## 6 一年間を通して

30年度は今までになく入退居者数が多い年度でした。長年当施設に入居され寿命を全うされた方、病態が急変し緊急搬送された方等21名が退居されました。その中で、10人の看取りを行い入居者様・ご家族様に少しでも寄り添うケアが出来たのではないかと考えています。新しく入居された方は22人で、早くさくら樹の生活に馴染まれますよう日々のケアに努めています。

又、さらなる質の向上に向けて、初めて「介護甲子園」に参加し、今年度も施設内外の研修会に積極的に参加しました。

それから福祉現場で介護職員の不足が言われている現在、職員数も充足し、職員の離職率が7%と低値であったことは喜ばしいことだと思います。今後も働きやすい職場風土作りと職員の質の向上に向けて努力したいと思います。

# 平成 30 年度 シルバーピアさくら樹 通所介護事業所 事業報告

## 1 事業概要

介護保険法に基づき、通所介護の事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の相談員、介護職員及び看護職員等が利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る為、要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適正なサービスを提供しました。

(営業日及び営業時間)

営業時間	月曜日～土曜日（但し 12 月 31 日～1 月 3 日を除く）
サービス提供時間	午前 9 時 15 分 ～ 午後 4 時 30 分
利用定員	55 名（平成 30 年 5 月 1 日より）

## 2 事業内容

### (1) 生活支援

利用者の生活状況を把握し、指導・援助を実施。（家族や利用者間の調整、自立支援のための個別プログラム、利用日の調整など）

### (2) 機能訓練

利用者の A D L の評価を行い、個々の身体状況に応じてプログラム内容を策定実施しました。またグループ活動におけるゲームや行事参加などに加えて運動療法、音楽療法も実施し職員と利用者の良好な人間関係を築けるような雰囲気づくりにも心がけました。

### (3) 養護

1 日の利用を通じ、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう配慮し、食事・歩行・排泄の介助、利用者の自主性や積極性を自然に引き出せるような人間関係づくりを心がけました。

### (4) 健康チェック

毎日の健康チェックは、血圧測定、体温測定、パルスオキシメーター測定や定期的な体重測定など、全身状態の把握を行い、利用者に異常があった場合は看護師による処置・適切な対応を行いました。

#### (5) 送迎

利用者宅の玄関からデイサービスの玄関まで(door to door)の送迎を安全に行いました。

#### (6) 入浴

利用者の身体状況と希望に応じて一般浴、個人浴、機械浴、清拭、足浴の対応を行い保清に努めました。また、皮膚状態の観察を行い異常の早期発見と対応に努めました。

#### (7) 食事

個々の嗜好や健康状態に応じ、栄養の必要量をバランスよく盛り込み季節感あふれる献立（管理栄養士が作成）で個人の咀嚼能力（刻み食、トロミ食、ソフト食など）に応じた対応ができました。また食事前の嚥下体操、食事後の口腔ケアも実施できました。

### 3 その他の活動や行事

#### (1) 機能回復訓練を目的としたレクリエーション活動の企画と実施

レクリエーションは、「集団で行うもの」と「個別に行うもの」「グループで行うもの」3通りに分けて、利用者の希望によりレクリエーション活動に参加していただき、良い人間関係を作りつつ利用者の自主性・積極性を引き出す活動を行いました。毎月のデイ会議で企画や実施後の反省点などについての意見交換を行い、次のレクリエーション活動に繋いでいきました。

#### (2) カルチャー

集団で行うものと個別で行うものと2通りに分けて、利用者の希望によりカルチャー活動に参加して頂きました。

#### (3) ボランティアの受け入れ

地域の方の協力により、定期的に来ていただき、話し相手や外出の付き添い、日舞・民謡・唱歌・琵琶や三味線・大正琴演奏・尺八やオカリナ演奏・ギター演奏・フラダンス・囲碁・手話ダンス・保育園の慰問、書道、絵手紙・折り紙・ちぎり絵の作品指導に来ていただくほか、月に6回（月～土）は、地域交流スペースにて喫茶さくらをオープンできました。

年末には希望者を対象として、しめ縄、クリスマスリース作りを実施しました。

#### (4) 地域支援

近隣の地域で行われている高齢者のサロンや老人会へ参加し、血圧測定や健康相談、ゲームやレクリエーション、健康体操等を提供し地域との交流に努めました。

#### 4 利用者の動向

##### (1) 登録者内訳（平成31年3月31日現在）

##### ①利用者数(名)

	予防	介護	計
男性	10	14	24
女性	9	64	73
合計	19	78	97

##### 休み

入院/入所	8
自宅療養	0
計(名)	8

※3月登録者数 105名

\*平成31年3月31日現在の登録者数 105名（H29年度は112名）。

そのうち8名が入院や老健施設入所されており、実績は98名でした。

##### ②年齢

年齢(歳)	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	合計
人数(名)	0	7	4	9	17	31	29	98

最年少：66歳

最高齢：100歳

平均年齢：85.1歳

男性：81.7歳 女性：86.2歳

(H31.3.31)

平均年齢：84.8歳

男性：81.8歳 女性：85.9歳

(H30.4.1~H31.3.31)

##### ③世帯構成

同居	独居	有料老人ホーム
76	21	8

計 105名

#### ④要介護度

介護度	人数	計
要支援 1	10	計 19
要支援 2	9	
要介護 1	38	計 78
要介護 2	26	
要介護 3	10	
要介護 4	0	
要介護 5	4	

合計 98 名

平均介護度：1.53  
男性：1.49 女性 1.54  
(H31.3.31)

平均介護度：1.68  
男性：1.68 女性 1.68  
(H30.4.1~H31.3.31)

\* 平均年齢は昨年とほぼ変わらないものの、平均介護度は0.07減っています(介護4~5の方の入院の頻度が多くなってきている)。

引き続き、中重度の利用者の受け入れを継続していきます。

#### ⑤関連事業所 35事業所

赤とんぼ	あかり(新)	アヤメ(新)
ヴィラながみね	おびやま居宅	学研ココファン(新)
看護協会くまもと	くましき	熊本ケアプランセンター
くるみケアプランセンター(新)	ぐれいす	ケアプラス
こころ	桜十字熊本東	サンライズヒル
たくまだい熊本	トラスティホームげんき	はあとふる
ハーモニー	八王子の杜	はなもも
ヒルサイドガーデン大樹	ふれあいの里	ふくし大夢
福田ケアセンター	益城病院	みどりの樹 健軍
みどりの館(新)	ゆうだい(新)	ライフケアわかば
ささえりあ 尾ノ上	ささえりあ あさひば	ふれあいケア熊本(新)
居宅あきつ	エイジェントケア	シルバーライフ熊本
たくまの里	パンプキンハウス	在宅ST水前寺
シルバーピアさくら樹	ささえりあ江津湖	

\* 新規の事業所との契約が7件ありました。

(2) 年間利用者 H 30 年 4 月～H 31 年 3 月

①月別利用者(件)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4 月	41	72	335	206	153	44	41	892
5 月	43	56	368	241	156	447	45	956
6 月	37	65	320	233	173	22	41	891
7 月	35	66	358	227	150	22	29	887
8 月	42	65	382	226	163	23	36	937
9 月	35	71	413	218	147	33	39	956
10 月	39	70	483	249	160	30	52	1083
11 月	39	77	418	238	123	25	50	970
12 月	37	66	387	227	107	12	42	878
1 月	36	72	362	176	80	1	35	762
2 月	40	77	373	195	68	3	33	789
3 月	38	73	437	250	87	0	23	908
合計	462	830	4636	2686	1567	262	466	10909
平均	38.5	69.2	386.3	223.8	130.6	21.8	38.8	909.1

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
30 年度	892	956	891	887	937	956	1083	970	878	762	789	908
29 年度	884	999	916	930	962	963	996	962	928	808	799	955
28 年度	581	851	911	925	914	939	938	923	959	884	841	953

\* H30 年度 10.999 件 平均 909.1 件 (稼働日 308 日)

\* H29 年度 11.102 件 平均 925.2 件

\* H28 年度 10.619 件 平均 884.9 件 (地震の為、6 日間中止)

②月別利用者(数)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4 月	11	9	33	18	17	4	5	97
5 月	11	8	33	20	15	5	4	96
6 月	10	8	32	19	15	3	4	91
7 月	9	8	38	18	15	4	4	96
8 月	10	8	35	19	17	3	4	96
9 月	9	9	41	18	16	4	5	102
10 月	9	8	41	21	15	4	5	103

11月	9	9	39	23	14	3	6	103
12月	10	9	40	24	12	2	5	102
1月	10	10	34	19	9	1	35	88
2月	11	10	36	20	9	2	4	92
3月	10	9	38	26	10	0	4	97
合計	119	105	440	245	164	35	55	1163
平均	9.9	8.75	36.7	20.4	13.7	2.9	4.6	96.9

30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	1	3	2	9	5	6	3	4	3	2	4	3	45
終了	4	9	4	2	4	7	2	3	5	9	2	3	54

<入院・入所・自宅安静等> H31.3.31 9名

H29年度入院のみ45名（平均4名）

30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院等	14	15	12	16	19	16	12	12	15	25	20	12	188

H30年5月より定員が55名に増員となりましたが、平均で40件を超えた月は10月のみでした。今後も新規を受け入れ、その定着を図り、また利用者の状態変化への対応を早期に行う事によって入院などを予防し、利用の継続を図っていきたいと思います。

平均で新規3.75人。終了・中止4.5人と状態不良後の利用再開がないこともあり、終了・中止が上回りました。

#### 4 平成30年度年間行事

※ 随時 毎月誕生会

	行 事	行事食及び特別献立
4月	・お花見 3/28~4/6	・セレクトおやつ 4/10 (火)
5月	・サントリー工場見学 4/13 (金) 17 (火) 20 (金)	・セレクトおやつ 5/28 (月)

6月	・コンサート 6/29 (金)	・セレクトおやつ 6/22 (金)
7月	・七夕祭り 7/7	・七夕食 7/7 (土)
8月	・おやつ作り (水羊羹) 8/10 (月) 13 (金) 25 (水)	・セレクトおやつ 8/16 (木)
9月	・敬老会 9/14 (金) ~17 (月) ・飾り馬 9/14 (金)	・祝敬老食 9/11~16 ・セレクトおやつ 9/28 (金)
10月	・保育園交流会 10/5 (金)	・セレクトおやつ 10/30 (火)
11月	・文化祭 11/1~30 ・保育園交流会 11/12 (月)	・寿司バイキング 11/1 ・セレクトおやつ 11/21 (水)
12月	・Xmas リース、しめ縄作り 12/11 (火) ~12 (水) ・クリスマス会 12/25 (火) ・ゆず湯 12/22 (土)	・クリスマスオードブル 12/25 (火) ・セレクトおやつ 12/22 (土)
平成30年 1月	・初詣 1/15 (火) ~19 (土)	・祝新年食 1/4~1/5 ・セレクトおやつ 1/25 (木)
2月	・節分 2/1 (金)	・恵方巻き 2/1 (金) ・セレクトおやつ 2/5 (火)
3月	・おひな祭り 3/1 (金)	・ちらし寿司 ・セレクトおやつ 3/25 (月)

\*H30年度は、利用者様から外出行事の希望もあったため、4グループ（季節ごとに）に分け、行事を企画しました。H31年度もH30年度と同様に、業務改善や職員の負担軽減を図りつつ、行事等の充実を図ってまいります。

#### 5 職員（新人）内部研修（第1木曜日）

4月	・理念、法令遵守について（組織体制と法令遵守について）
5月	・介護報酬について
6月	・B.I(バーセルインデックス)について
7月	・熱中症について
8月	・車両操作について
9月	・腰痛について
10月	・糖尿病について
11月	・高齢者疑似体験について
12月	・認知症テストについて



平成 30 年 1 月	・ くも膜下出血について
2 月	・ ケアプランについて
3 月	・ バイタルサインについて ・ 一年を振り返って

\* 専門職としての資質向上と、より良いサービスの提供を目指し、職員の連携を大切にした研修会議を行いました。他、施設内研修にも参加しました。

必要に応じて業務の見直しも行いました。

#### ～まとめ・総括（次年度に向けて）～

平成 31 年度は、H30 年度に達成できなかった以下の事柄を目標にし、目標を達成出来るよう、事業所一丸となって取り組んでまいります。

- ①目標平均 38 件/日、988 件/月
- ②整理・整頓
- ③報・連・相の徹底
- ④地域行事への参加交流、外部研修会への参加（全スタッフ年 1 回以上）

## 平成 30 年度 シルバーピアさくら樹訪問介護事業所 事業報告

### 1 事業報告

社会福祉法人百八会の訪問介護事業所は、基本方針を基に事業運営に努めました。利用者が安心してすこやかに生活していただける環境の提供を目指し、事業所と在宅・地域との連携を取りながら事業推進を図りました。

また、地域に根ざした幅広いサービスの提供と、法人施設全体のスケールメリットを生かした事業展開を行ないました。

- (1) 利用者本位で、尊厳のある生活を守り、自立を目指した生活支援に努めました。(ADLの維持・向上と高いQOLの実現)
- (2) 利用者が、日々健康な生活を維持できるよう健康管理に努めました。
- (3) 保健・福祉・医療の各関係機関との連携を密にし、サービス提供責任者と訪問介護員のサービスの質の向上を図りました。
- (4) 専門職を高めるため各自自覚をもち、自己研鑽に励み、理論的な裏付けに基づいたサービスの方法・技術の向上に努め、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指しました。
- (5) 利用者一人ひとりの嗜好に応えられるよう勉強し、支援しました。
- (6) 掃除等、家事については、利用者の出来ないところの支援を行い、保有能力を活かせるように支援しました。

### 2 活動報告

- ・平成 30 年 7 月 3 日(火) 熊本市役所にて  
田中あつお市議、高齢介護福祉課高本課長、濱津副課長、企画担当市原氏、介護認定係長との面談開催
  - ① 訪問介護の現状と今後の熊本市への協力お願い、
  - ② 介護福祉士会と訪問介護の今後の関わり方について
- ・平成 30 年 7 月 28 日(土) 桜木東校区夏祭り参加  
当事業所のヘルパーの魅力と人材確保など PR
- ・平成 30 年 8 月 5 日(日) 熊本県庁 本館 地下大会議室  
<平成 30 年度 第 5 回 熊本県サービス提供責任者研修会開催>  
「働き方改革にヘルパー事業所はどう向き合うのか？」  
講師：株式会社 ヒューマナイズ 代表取締役 吉次 潤 氏

企画運営実行 中央区・東区サ責ネットワーク委員メンバー一同

- ・平成 30 年 9 月 11 日(火) くまもと成仁病院  
自立支援にむけた連携会議  
ケアマネジャーに求めること 講師として発表
- ・平成 30 年 9 月 23 日(日) 熊本市区役所にて  
東区民祭りに参加「ヘルパーさんの魅力と茶碗蒸し 200 食試食会」
- ・平成 30 年 10 月 27 日(土) NPO 法人お～さあ 健軍くらしささえ愛工房  
お～さあ 秋祭り ステージイベントに当スタッフ四人参加  
「やってみようホームヘルパー」JJ ダンスで魅力と人材募集 PR
- ・平成 30 年 11 月 10 日(土) 認知症 RUN 伴 2018  
健軍商店街アーケードタスキリレーに参加
- ・平成 30 年 11 月 11 日(日)  
熊本県介護福祉士会 主催 11 月 11 日は介護の日  
イベントアシスタントとして参加
- ・平成 30 年 12 月 17 日(月)  
ささえりあ熊本中央主催 地域連携会議  
「ケアマネジャーとヘルパーの意見交換会」アドバイザーに参加
- ・平成 30 年 12 月 22 日(土) NPO 法人お～さあにて  
「お～さあクリスマス会」にてヘルパーの魅力 PR と人材募集の活動

### 3 その他の活動

- ・ サービス提供責任者研修会について企画・運営
- ・ 各訪問介護事業所の不安要件の事例検討、運営、活動の相談など

#### 4 訪問介護員(登録ヘルパー)勉強会報告 (登録ヘルパー16名)

- 4月 ホームヘルパーの出来る事、出来ない事、一年間の目標
- 5月 病気についての知識と正しい薬の飲み方、腰痛体操
- 6月 熊本県サービス提供責任者研修会の報告
- 7月 救急法—利用者宅で急変時における対応
- 8月 接遇につて
- 9月 調理実習 簡単にできる茶碗むし
- 10月 認知症を正しく理解する
- 11月 動作介助・排泄介助などの身体介護の手順
- 12月 感染予防
- 1月 メンタルヘルス勉強会
- 2月 リスクマネジメント
- 3月 各自の一年間の目標達成について自己評価

#### 5 研修会等参加のまとめ

県が推進する働き方改革セミナー参加、地域活動に伴うサロンへの参加、地域ケア会議をとおしてのケアマネジャーとの関わりや講師派遣などを通して介護福祉士としての訪問介護専門職として自己研鑽に励みました。今期は、いろんな活動への参加の効果もあり、ここ数年人材確保がゼロという状況から3名の新人登録ヘルパー入職につながりました。結果、今期の当事業所の実績向上にも貢献できました。

また、当施設においては訪問介護のプロとして、困難事例や身体介護を重点とする利用者に誰でも対応できるように、訪問介護職員一人ひとりの知識や技術向上にむけての勉強会を実施。今後も地域に根ざした在宅サービスのあり方を学び、さらに訪問介護が魅力ある職種へのイメージアップなどにつなげたいと思います。

#### 6 一年間を通して

平成30年度は過去最高の実績アップへとつながりました。今後もさらにまい進していきたいと思ひます。

# 平成 30 年度 シルバーピアさくら樹居宅介護支援事業所 事業報告書

## 1 事業報告

(1) 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に向けて関係先と連携して支援してきた。

(2) 地域の自治会や老人会などを通して、地域の方々の介護予防・健康増進に務め、同時に要介護認定を受けられた利用者及び家族の生活を支援し、在宅介護をはじめとした総合相談に応じるよう努めた。また福祉サービスの提供及び社会資源を有効活用出来るよう、市町村保険者、地域包括支援センター、保健・医療・福祉サービス提供機関との連絡調整を行った。

### (3) 営業日及び営業時間

営業日	月曜日～土曜日（日曜日、祝祭日は除く） （年末年始（12/31～1/3 まで）
営業時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時

## 2 事業内容

(1) 在宅介護に関する全般的な相談。

(2) 居宅サービス計画、予防サービス支援計画の作成

- ① 利用者へサービスの選択に必要な情報を提供
- ② 利用者を支援する上での課題の把握と利用者及び家族への説明
- ③ サービスの目標、達成時期を盛り込んだ居宅サービス計画の作成
- ④ サービス担当者会議の定期的開催、担当者との連絡調整
- ⑤ サービス計画書に対する利用者の同意
- ⑥ サービスの実施状況の把握と評価

(3) 行政・地域包括支援センターとの連携。

(4) 医療・福祉との連携。

(5) 新しいサービス、施設等の情報収集。

(6) 医療・介護・福祉に関連した研修。

(7) 地域活動の支援（サロンや老人会への参加、協力、支援）

## 3 利用者紹介（合計 58 件）

事業所名	件数	事業所名	件数
ささえりあ尾ノ上	4	平成とうや病院	2
ささえりああさひば	5	水前寺とうや病院	5
ささえりあ江津湖	6	飛び込み（来所・電話）	3
さくら病院	1	利用者家族や職員・知人等	5
有料老人ホーム	1	他居宅事業所	20
西日本病院	3	益城包括より	1
地域サロン等	2		

#### 4 研修報告

期 日	内 容
H30年4月19日(木)	・ 自立支援型個別ケアに関する研究会
5月24日(木)	・ 介護支援専門員更新研修
6月1日(金)	・ 熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修会
6月6日(水)	・ 介護支援専門員更新研修
6月15日(金)	・ 平成30年度介護サービス事業者等集団指導
6月19日(火)	・ 他法人との共同事例検討会
7月2日(月)	・ 介護支援専門員更新研修
7月11日(水)	・ 介護支援専門員更新研修
7月19日(木)	・ 介護支援専門員更新研修
7月26日(木)	・ 介護支援専門員更新研修
8月2日(木)	・ 主任介護支援専門員研修
8月9日(木)	・ 介護支援専門員更新研修
8月29日、30日	・ 主任介護支援専門員研修
9月5日(水)	・ 主任介護支援専門員研修
9月7日(金)	・ 住み慣れたまちで、人生最期まで過ごせる社会を目指して
9月18日(火)	・ 主任介護支援専門員研修
9月19日(水)	・ 集団指導特別研修
9月19日(水)	・ 他法人との共同事例検討会
9月26日(水)	・ 東区 地域ケア会議推進部研修会(自立支援)
9月26日(水)	・ 主任介護支援専門員研修
10月4日(木)	・ 主任介護支援専門員研修
10月15日(月)	・ 主任介護支援専門員研修
10月31日(水)	・ 主任介護支援専門員研修
11月8日(木)	・ 主任介護支援専門員研修
12月11日(火)	・ 主任介護支援専門員研修
12月19日(水)	・ 他法人との共同事例検討会
H31年1月9日(水)	・ 主任介護支援専門員研修
年3月8日(金)	・ 東区 地域リハ連絡会及び研修会
年3月13日(水)	・ 他法人との共同事例検討会

※その他にも、包括支援センター主催の自立支援型ケア会議や地域ケア会議(毎月) 施設内研修(毎月)・事例検討会(毎月)・ミーティング(1/週)等も行っている。

#### 5 利用者実績(比較)

H30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	16	15	14	14	13	14	14	13	11	12	15	18	169
要介護	108	106	104	104	106	104	109	109	106	94	98	116	1264
合計	124	121	118	118	119	118	123	122	117	106	113	134	1433
H29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	19	18	17	17	17	18	17	18	18	18	16	16	209
要介護	90	94	94	98	98	102	106	104	106	103	104	104	1203
合計	109	112	111	115	115	120	123	122	124	121	120	120	1412

(次年度に向けて)

他事業所の介護支援専門員の退職等に伴う求職者がなかったため、担当を引き継いだケースが多かったことで、介護支援専門員の増員を行った。今後は登録利用者180人を目指して、グループ病院や包括支援センターにはもちろん地域の病院や事業所、施設等と連携を図り、地域サロンや老人会へも積極的に参加していきます。